



ベンチャーアイデア

令和6年7月28日

黒田 毅

デジタルパスポートと地図と連動したデジタルサービスの構築

インターネットにおけるIDと認証、ビジネスにおける共有化とデジタル名刺など、社会における全ての会員サービスの統一などを、さらなる拡大とともに、これらサービスの構築を提案できる。

また全てのデジタルキーとしての標準化（車やスマートビジネス、スマートホームにおける共有キー）としてのサービスを提案できるものである。

これらは全てのシェアサービスへの統一したデジタルパスポートとスマートマネーとしてのサービスと製品の提案を可能とできるものである

シェアサービスにおけるパスポートとスマートマネーとしての提案などが考えることができるものである。

地図データとの連動におけるすべてのデジタルサービスの統一環境の構築は、メタバースなどにおける可能性とともに、その新たなデジタル社会における基幹インフラとしてのサービスの構築を提案できると考える。

これらは生活と社会におけるデジタルサービスが、地図データと統合され、統一した規格においてその標準化を実現できることを意味する。

これらはスマートフォンと位置データを利用した新しい生活スタイルの提案や、次世代カーナビゲーションの提案などを実現できるものである。

これらはデジタル社会における基幹インフラとしての提案が可能であると考えます。また、デジタルサービスの構築へ、統一したフレームワークと作成環境を提供することは、地図と連動した新しいデジタル社会の整備を、メタバースとともに提案することが可能である。

サービスの要旨



これら2つのアイデアは、デジタル社会への移行において、その基幹インフラとサービスとして、それらの実現を可能とできるもので有り、これらは既存規格もしくは新規規格における標準化を提案できるものである。

これら現実には、社会のデジタル化への基幹的な現実たりうるため、オープンソースにおける開発などを提案できるものである。

これらは、地図データにおけるデジタルサービスの構築が、ディスカウントチケットや、地域や店舗における情報の共有、などデジタル空間やデジタルサービスとの融合を現実と共有できるためである。

これらは自己デジタルサービスの構築への標準化した作成環境を提案し、これらが規格のもとオープンソースとして提案することで、そのサービスの拡大を提案したいと考える。

これらは、デジタル社会における基幹インフラへの提案であり、規格とともに、可能性を提案することは可能と考える。

またデジタル社会における基幹サービスとしての提案であるため、多様な可能性を提案できると考える。

サービスイメージ

これらデジタルパスポートと地図と連動したデジタルサービスの統一は、デジタル社会における基幹インフラとしての提案を模索できると考える。

デジタルパスポートはすべてのデジタルサービスにおける自己認証とアクセスを提案し、デジタルキーにおける標準化や電子名刺としてのビジネスユースへの提案を可能とできるものである。これらは現状のすべての会員カードの統一などを提案するものである。

地図と連動したデジタルサービスの統一環境は、WEB3から飛躍したポータルやアプリケーションの整備において、社会と生活と連動した新しいサービスの提案を提供できると考える。これらは一データの利用した新しいサービスなどを提案できるものである。これらは社会と生活においてすべてのサービスをデジタル化し、そのフレームワークを整備し、地図データと連動することで、生活におけるユースを、小売店におけるデジタルクーポンの配布や、イベントの紹介、官公庁における告などを統一した環境において提案できるのである。



これらは、IC カード、スマートフォンにおけるデジタルパスポートの整備、クラウドへの地図と連動したデジタルサービス環境の構築などにおいて、この事業構築を提案したいと考える。

これらは新規フレームワークや規格の整備。既存規格への参加やデジタルサービスの標準化において、自己環境の提案と整備を実現したいと考える。

これらは既存規格におけるタッチ認証や決済への参加において、すべてのデジタルサービスへの標準化を提案することで、会員カードやすべてのカードサービスの統合、データ管理サービスの提案や、アプリケーションやクラウド環境の提供など、製品、顧客管理などを小売業者へ提案できるものである。ビジネスユースにおいてもその標準化は、製品管理や生産、作業における個人認証などを提案できるものである。

また地図データと連動したメタバース空間の提案は、生活と密接につながるサービスの構築と拡大を提案できると考える。